

Jugenddelegation aus Ome 2016



第 1 6 回 青 梅 市 青 少 年 友 好 親 善 使 節 団 ～ 派 遣 の 記 録 ～

派 遣 日 程

平 成 2 8 年 7 月 1 3 日 (水) ～ 7 月 2 2 日 (金)

はじめに

浜中啓一青梅市長を団長とする、第16回青梅市青少年友好親善使節団12名が、7月13日から22日まで姉妹都市ボッパルト市（ドイツ）を訪問しました。

今回から、派遣団員を市内在住の中学2年生から派遣年度に20歳を迎える方まで年齢を引き上げるとともに全員公募といたしました。募集の結果25名の応募があり、作文および面接により選考を行い、中学生6名、高校生2名、大学生2名の計10名が派遣団員に決定しました。

団員は全員がボッパルト市にホームステイしながら市民との親善交流を深めたほか、カントギムナジウム（学校）での同世代交流やボッパルト市内見学、歴史的な都市であるケルン、コブレンツ、ハイデルベルクの見学、ドイツ歴史博物館、ごみ処理場の見学など、ドイツの豊かな自然、歴史、文化などを幅広く見聞し帰国しました。

派遣に当たり実施した事前研修では、青梅市やボッパルト市の概要、ドイツ語会話の勉強や、ボッパルト市で披露するドイツ語の歌とよさこいソーランの練習を行いました。また、学習テーマとして「青梅市とボッパルト市のごみ分別の違い」を学ぶため、青梅市のごみ処理についても学習しました。

帰国後に実施した派遣報告会では、団員一人ひとりが、事前研修からボッパルト訪問、事後研修に至るまで、経験したこと、感じたこと、学んだことなどを大勢の市民の皆さんの前で報告しました。そして、団員全員がボッパルト市への感謝と姉妹都市交流の大切さを伝えていました。

姉妹都市提携50周年を経て両市の交流が深まる中、今後はこうした若い年代が中心となって活躍することで、更なる姉妹都市交流の裾野が広がることと思います。

この派遣報告書は、両市の素晴らしい姉妹都市交流がますます発展することを願い、団員一人ひとりから寄せられたボッパルトでの生活や印象などの素直な感想をもとに作成しました。

団員たちの体験を多くの市民の皆様にご覧いただくことで、今後、より多くの皆様が姉妹都市交流、また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、ドイツのホストタウンとしての交流の輪に加わっていただければ幸いです。

目次

| | | |
|-----|-------------------------|----|
| 1 | 団員名簿 | 1 |
| 2 | 派遣日程 | 3 |
| 3 | 派遣の内容 | 5 |
| 4 | 派遣報告 | |
| (1) | 派遣全体を通じて | 14 |
| | 姉妹都市ボッパルト市を訪問して | 15 |
| | ボッパルトで得たもの | 16 |
| | ボッパルトでの素敵な体験 | 17 |
| | ボッパルトとの友好の架け橋 | 18 |
| | ボッパルト派遣を終えて | 19 |
| | 「異文化」に触れる | 20 |
| | 小さい世界から大きい世界へ踏み出す | 21 |
| | つながりを大切に ～派遣を通して～ | 22 |
| | 『Danke!!』 | 23 |
| | ボッパルトを訪れて | 24 |
| | 自分が変わった10日間 | 25 |
| | Wasser bitte | 26 |
| (2) | テーマ学習「青梅とボッパルトのごみ処理の違い」 | 27 |
| 5 | 参考資料 | |
| (1) | 平成28年度事業スケジュール | 33 |
| (2) | 事前研修・事後研修の様子 | 34 |
| (3) | 派遣報告会の様子 | 37 |
| (4) | 派遣団員募集案内 | 38 |

1 団員名簿

| | 氏名(係) ホームステイ先 | 所属・学校名 | |
|----|------------------------------|------------------|---|
| 団長 | はまなか けいいち 浜中 啓一 | 青梅市長 |  |
| | E. シュナイダー宅 | | |
| 団員 | きた みらい 北 未来 (写真) | 桜美林大学1年 |  |
| | モア宅 | | |
| 団員 | ならの りさ 奈良野 りさ (歌) | 桜美林大学1年 |  |
| | J. シュナイダー宅 | | |
| 団員 | むらき あい 村木 愛 (リーダー) | 明星高等学校2年 |  |
| | ゾワカ宅 | | |
| 団員 | なかの しょうた 中野 正太 (写真) | 東海大学 菅生高等学校1年 |  |
| | ルドルフ宅 | | |
| 団員 | てづか みつき 手塚 光希 (サブリーダー) | 青梅市立 第七中学校3年 |  |
| | ピヴィンガー宅 | | |
| 団員 | たなか れみ 田中 礼美 (派遣報告会司会) | 青梅市立 吹上中学校3年 |  |
| | プート宅 | | |
| 団員 | ながつか まい 長塚 万依 (記録) | 青梅市立 新町中学校3年 |  |
| | ブラガー宅/カイル宅 | | |

| | 氏名(係) | 所属・学校名 | |
|----|---|-----------------|--|
| | ホームステイ先 | | |
| 団員 | <small>はしもと わかな</small> 橋本 雅奈 (派遣報告会司会) | 青梅市立 泉中学校3年 |  |
| | ガレアッチ宅 | | |
| 団員 | <small>あさひ</small> 旭 りりか (記録) | 青梅市立 霞台中学校2年 |  |
| | ヘニッヒ宅 | | |
| 団員 | <small>たかはし ひなこ</small> 高橋 日菜子 (よさこいソーラン) | 青梅市立 新町中学校2年 |  |
| | ローズ宅 | | |
| 引率 | <small>ほしの ゆうすけ</small> 星野 由援 | 秘書広報課長 |  |
| | E. シュナイダー宅 | | |



第16回青梅市青少年友好親善使節団派遣日程
2016年7月13日～7月22日



7月13日(水)

- 6:30 出発式(市役所)
- 11:30 羽田空港出発 ANA-NH223便
(以下ドイツ時間)
- 16:40 フランクフルト空港到着
- 19:00 ボッパルト市到着、歓迎会、民泊家庭初対面



(出発式)



(ボッパルト市到着)

7月14日(木)

- 9:00 マルクト広場集合
- 9:15 ボッパルト市内見学
- 12:30 昼食
- 13:40 マルクスブルク城見学
- 15:15 ボッパルト市へ出発
- 16:00 民泊家庭お迎え



(市内見学)



(マルクスブルク城内)

7月15日(金)

- 8:30 カントギムナジウム(学校)集合
- 8:40 校内見学・交流
- 10:30 姉妹都市公園見学
- 10:45 ライン河畔散策
- 11:15 博物館見学
- 12:30 ボッパルト市公式歓迎会
- 13:15 昼食
- 14:30 消防ボート乗艇体験
- 16:00 民泊家庭お迎え



(カントギムナジウム訪問)



(ボッパルト市公式歓迎会)

7月16日(土)

- 8:45 ボッパルト駅集合
- 9:10 フレカスホーへ駅到着(ハイキング)
- 10:00 ライン川を臨む展望台においてボランティア消防団による高層ビル救助訓練見学・体験
- 12:00 昼食
- 午後 民泊家庭とフリータイム



(展望台での救助体験)



(ライン川を臨む展望台)

7月17日(日)

- 民泊家庭とフリータイム

7月18日（月）

- 8:50 ポッパルト駅前集合
- 9:00 路線バスでコブレンツへ
- 9:36 コブレンツ観光
(ドイチェスエック、
エーレンブライトシュタイン城塞等見学)
- 12:45 昼食
- 14:00 小グループで市内見学
- 17:02 電車でポッパルト市へ
- 19:00 市・友好協会主催「友好の夕べ（歓迎パーティ）」



(ドイチェスエック)



(エーレンブライトシュタイン城塞)



(友好の夕べ)

7月19日（火）

- 8:30 バスでボン、ケルンへ出発
- 10:00 ボン到着 歴史博物館見学
- 13:00 ケルン到着
(昼食、ケルン大聖堂・市内見学)
- 19:00 バスでポッパルト市へ
- 20:30 民泊家庭お迎え



(歴史博物館)



(ケルン大聖堂)

7月20日（水）

- 8:30 バスでキルシュベルクのゴミ処理場へ
- 9:30 ゴミ処理場見学
- 11:45 バスでポッパルト市へ
- 12:30 昼食
- 13:30 マウンテンバイク公園・
ゲデオンスエック見学
- 18:00 民泊家庭お迎え



(ゴミ処理場)



(ゲデオンスエック)

7月21日（木）

- 8:50 レミギウス駐車場集合（お別れ会）
- 9:00 バスでハイデルベルクへ
- 11:00 ハイデルベルク着（市内見学、昼食）
- 16:45 フランクフルト空港へ出発
- 18:00 フランクフルト空港到着
- 20:50 ANA-NH224 にて羽田空港へ



(ハイデルベルクの街並み)

7月22日（金）

- (以下日本時間)
- 14:55 羽田空港到着
- 18:00 市役所到着
(帰国報告式)



(フランクフルト空港)



(帰国報告式)

7月13日（水曜日）

出発式～ポツパルト到着

出発式には、早朝にもかかわらず多くの方々が見送りに来て下さいました。期待と不安、様々な感情が混じり合いながら羽田空港を飛び立ちました。



約12時間のフライトを経て、ようやくフランクフルト空港に到着。そこからさらに2時間ほどライン川沿いをバスで走りました。

ライン川沿いには数々のお城があり、車窓から見える景色は、夢の中にいるようでとても幻想的でした。

ポツパルト市に到着。

ベアシュ市長、友好協会、ホストファミリーの皆様にお出迎えいただきました。



7月14日(木曜日)

ポツパルト市内見学



この日は、マルクト広場に集合しポツパルト市内を散策しました。

市の象徴である、聖セヴェレス教会やバウドブリガ要塞等歴史的建造物の見学や、ライン川沿いをのんびり歩き、歴史と美しい街並みを堪能しました。

午後は、マルクスブルク城を見学しました。このお城は12世紀に建てられ、唯一戦乱を逃れ、中世の面影をそのまま残している貴重なお城です。



7月15日（金曜日）

カントギムナジウム訪問 ポツパルト市公式歓迎会

カントギムナジウムを訪問しました。ここでは、日本でいう小・中・高の一貫校で、2015年に創立250年を迎えました。この学校は、青梅総合高校と姉妹校提携をしています。

その後、姉妹都市公園に行き、恒例となっている名前と日付を書いた「多摩川の石」を置きました。

公式歓迎会では、ベアシュ市長以下市職員や友好協会の皆様の前で、ドイツ語で自己紹介をしました。とても緊張しましたが、良い思い出になりました。



7月16日(土曜日)

消防団による救助訓練・ 午後フリータイム

ボッパルト駅に集合し、電車でフレカスホーへ駅に向かいました。この駅は無人駅のため、事前に降りることを車掌に伝えておかないと停まってくれないそうです。駅からは、ライン川を臨む展望台までハイキングしました。

展望台では、ボランティア消防団による救助訓練の見学と体験をしました。

今日の午後と明日はフリータイムです。遊園地に行ったり、プールに行ったり…。各々、ホストファミリーと楽しい時間を過ごしました。



7月16日午後と
7月17日日曜日は

フリータイム

団員は、それぞれのホストファミリーと過ごしました!!

7月18日（月曜日）

コブレンツ観光・歓迎パーティ

路線バスでコブレンツに行きました。「ドイツの角」と呼ばれている“ドイチェスエック”とゴンドラで“エーレンブライトシュタイン城塞”に行きました。城塞からみたドイチェスエックは、ライン川（手前）とモーゼル川（奥側）の合流地点で、川の色の違いがくっきりと分かりました。

夕方から、市と友好協会による“歓迎パーティ”です。多くのドイツの方と、歌を歌い、ダンスを踊り、とても楽しいひと時でした。ボッパルトの皆さんと打ち解けた瞬間でもありました。



7月19日（火曜日）

ボン・ケルン見学



バスでボンにあるドイツの歴史博物館に行きました。

歴史博物館には、戦争中の生々しい映像や、東西ドイツに分かれていたとき、西ベルリンの人達に物資を空から落として配給していたことなど、ドイツの歴史をたくさん知ることが出来ました。

その後、ケルンに行き、ケルン大聖堂を見学しました。現在は3代目で、1248年に建設が始まり、何回かの建設中断を経て1880年に完成しましたが、建設開始から770年近くが経過し、どこかが壊れたら直し、また壊れて直しと連鎖が起きており、いつもどこかを修復しているそうです。

大聖堂の大きさと、ステンドグラス等の内装の美しさに感激しました。

7月20日（水曜日）

ゴミ処理場見学、 マウンテンバイク公園、ゲデオンスエック

この日は、ゴミ処理場の見学と、マウンテンバイクの実演を見るプログラムです。

まず、バスでキルシュベルクという町にあるゴミ処理場に行き、埋立地の様子や回収されたゴミがどのように集積されているかを見学しました。回収したゴミは細かく粉砕し、最終的には砂や土のような状態までしたら埋立地に埋めるそうです。また、木材は周辺施設の暖房に使っていて、資源を無駄にしていないということがよくわかりました。さすが、環境先進国のドイツだと思いました。

ボッパルト市に戻り、リフトでマウンテンバイク公園に行きました。公園の中には、マウンテンバイク用のコースがあり、ボッパルト出身のアミル・カバーニ選手の演技を見ました。世界トップクラスの選手の演技ということもあって、とても迫力がありました。その後、ゲデオンスエックという、ライン川が360度湾曲している景色を見ました。



7月21日（木曜日）

ポツパルトにお別れ ハイデルベルク見学

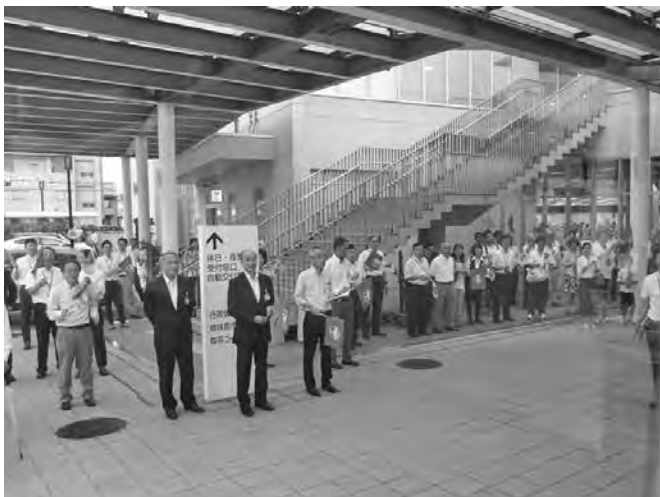
最終日、とうとうポツパルトを離れる日です。「帰りたくない。」という団員の思いが伝わったのか、この日は朝から雨でした。

バスに乗りハイデルベルクを見学後、とうとうフランクフルト空港に到着。空港では、ポツパルトの人たちとの別れを惜しんで、ずっとしゃべっていました。ドイツ最後の景色であるフランクフルト空港を見渡しながら、「またポツパルトに絶対来る。」そう心に誓い飛行機に乗りこみました。



7月22日（金曜日）

帰国報告式



フランクフルト空港から約12時間、羽田空港に到着しました。

空港を出ると、日本特有の蒸し暑さに、ポツパルトの爽やかな風が恋しくなりました。

市役所に到着し、家族が笑顔で手を振ってくれているのを見た時は、ポツパルトに戻りたいと思いつつも、やっぱり安心しました。

帰国報告式では、市役所の方や校長先生など多くの方々に迎えていただきました。

「笑顔で戻ってきて良かった。」とたくさんの人に言われ、待っていてくれる人がいることをとても嬉しく感じました。